

14 September 2018

**RE: ORCID consortium in Japan**

森様、  
いつもお世話になっております。

日本においてORCIDグループの将来性について各方向からアプローチを行い、様々な意見交流を行いながらより良いものにしていければと存じます。

そこで、今回ご連絡した内容としては、今後のORCIDグループの展開を具体的にどのように進めて行くのかという点において説明を兼ねて議論できればと存じます。はじめに「1 ORCID確立手順」を進めていき、長期的な運営には「2 運営組織構造の確立」が必要と考えおります。この文書でグループとは、将来コンソーシアムになる機関の集まりのことを指しています。

**1 ORCID確立手段**

ORCIDコンソーシアムを確立するためのはじめのステップとして下記内容を進めていきます。

- ・グループを牽引するトップ組織を特定
- ・グループへの資金提供方法の確立
- ・サポートモデルと運営スタッフの固定、グループの政策、グループ目標、メンバーシップ基準設定、ガバナンス原則、進捗状況の監視方法
- ・ORCIDグループへの参加を呼びかけ

現在ORCIDは、17カ国で18のコンソーシアムを支援しております。ORCIDがグローバルなオープンで研究インフラストラクチャを構築する上で成功するポイントとしては、コンソーシアムの機関メンバーとその主導機関の協力が必須と考えております。

グループプログラムの目標は、グローバルな実装基準を使用して、地域および国内でORCIDサービスとリソースを適用できるプラクティスのコミュニティを育成することです。ORCIDグループ-5つ以上の非営利団体からなる団体は、グループ運営、ガバナンス、および地域社会の取り組みに対する責任を取ることに代償として、会費割引を提供（適用）いたします。

**2 運営組織構造の確立**

各グループは、地域社会におけるORCIDの採用を促進するために、グループを牽引する主導組織を決めています。組織運営を行う際には下記内容を進める必要があります。

- ・グループへの行政支援
- ・グループメンバーのオンボーディングの管理とサポート
- ・専用のコミュニティ管理スタッフの採用
- ・共有資源、コミュニケーション資料、イベントの開発
- ・グループのドキュメントリポジトリの維持
- ・グループ共同体と協力し目標の設定、政策とガバナンスを開発し、会員やORCIDへの定期的な進捗報告を行う



グループトップ組織はまた、ORCIDチームに定期的なフィードバックを行い、グループの地方統治を確立、進捗状況の把握、各国の研究政策および部門間の窓口となり支援する必要があります。  
グループ主催団体は、適切な地域支援スタッフの確保に加え、ORCIDとの架け橋となり機能し、国内または地域の連絡役となり、グループのメンバーがORCIDを採用し統合するベストプラクティスとスピードの理解を促進します。グループ主任、スタッフと定期的に電話会議、情報共有を義務的に行っていくとを予定しています。

Yours Sincerely,



**Matthew Buys**  
ORCID, Director of Engagement  
[m.buys@orcid.org](mailto:m.buys@orcid.org)  
+31 68 485 5460